

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 107-0062  
 住 所 東京都港区南青山1-15-9  
 氏 名 ジャパンエクセレント投資法人  
 執行役員 香山 秀一郎 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ジャパンエクセレント投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区堀川町66番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産投資信託の投資法人		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,076	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 11,454	(実) 10,822	(実) 9,700	(実) 7,461	(実) 11,052
	(調) 11,177	(調) 10,572	(調) 9,426	(調) 7,412	(調)
削減率		(実) 5.5%	(実) 15.3%	(実) 34.9%	(実) 3.5%
		(調) 5.4%	(調) 15.7%	(調) 33.7%	(調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	面積				目標とした値
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
原単位等の活動量	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	t-CO2/m <sup>2</sup>
排出量原単位等の値	0.06788	0.06414	0.05749	0.04422	
活動量の値	168719.27	168719.27	168719.27	168719.27	-
排出量原単位等の削減率		5.5%	15.3%	34.9%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	各ビルとも、共用部分の適正な温度設定や、空調機の運転時間の見直し等温室効果ガス排出量削減に取り組み、基準年度比5.5%削減した。				
第2年度	各ビルとも、共用部分の適正な温度設定や、熱源機器の運転台数見直し等温室効果ガス排出量削減に取り組んだ。ビル出勤者の減少もあり、基準年度比15.3%削減した。共用部分についてLED化を進めた(武蔵小杉)。ボイラー機器の更新を行った(川崎西口)。				
第3年度	事務棟1階エントランス吹抜け部および事務室フロア(3フロア)照明器具のLED化工事を行った(武蔵小杉)。事務棟専用部照明器具のLED化工事開始、FCU更新を行った(興和川崎西口)。結果、基準年度比34.9%削減した。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		各ビルにおいて、計画的に高効率機器への更新、照明器具のLED化に取り組んだ。最終的に目標を大幅に上回り、基準年度比34.9%削減した。			
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		各ビルにおいて、共用部分の適正な温度設定や、熱源機器の運転方法の最適化を推進するとともに計画的に照明のLED化や高効率機器の導入を推進し、温室効果ガス排出の削減を図る。			

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) トイレ・ラウンジ・共用部廊下への人感センサー設置を検討する。                  (2) 既設照明器具のLED照明器具への改修を推進する。                  (3) テナントに対し使用しない事務室・会議室等の空調運転停止と照明消灯等を啓蒙する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) トイレ・ラウンジ・共用部廊下への人感センサー設置を検討中。                  (2) 武蔵小杉タワープレイスの店舗棟1F、2FのLED照明器具への改修工事を実施した。                  (3) テナント様に対し使用しない事務室・会議室等の空調運転停止と照明消灯等を啓蒙した。                  (4) 太陽光発電設備の導入を検討中。(追加実施)</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) 興和川崎東口ビルのトイレ改修工事(7F~19F)に伴い、LED照明器具、人感センサーを設置。                  (2) 日進町ビルの共用廊下照明(9F~14F)をLED照明器具とした。                  (3) 興和川崎西口ビルにおいて、以下更新等を行った。                  ・ボイラー更新(2基)                  ・各階空調機更新(INV制御、CO2制御、ゾーニング)                  ・中央監視装置にBMS導入                  (4) 武蔵小杉タワープレイスにおいて、事務棟共用部照明更新工事実施(1階エントランス吹き抜け部・階段室・トイレ除く)                  (5) テナント様に対し使用しない事務室・会議室等の空調運転停止と照明消灯等を啓蒙した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>(1) 興和川崎東口ビルの第2年度~第3年度において、専有部照明のLED化を50%達成した。                  (2) 日進町ビルの共用廊下照明(3F、4F)をLED化した。                  (3) 興和川崎西口ビルにおいて、専有部照明(19F)をLED化した。FCU162台を更新した。                  (4) 武蔵小杉タワープレイスにおいて、事務棟1階エントランス吹き抜け部、事務所3フロアをLED化した。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>計画した取組みを実施した。興和川崎西口ビルにおいては、追加でボイラー更新、各階空調機更新、BMS導入等を実施した。結果、当初目標を大幅に上回る温室効果ガス排出の削減を達成した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1) 製品の簡易パッケージ採用による廃棄物の減量化(廃棄物処理過程で発生する温室効果ガス排出量の削減)
第1年度	(1) 製品の簡易パッケージ採用による廃棄物の減量化を図った。
第2年度	(1) 製品の簡易パッケージ採用による廃棄物の減量化を図った。
第3年度	(1) 製品の簡易パッケージ採用による廃棄物の減量化を図った。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1) 環境に配慮した電力の選択、使用(排出係数のより低い電気事業者の利用、RE100を検討する。)
第1年度	(1) 環境に配慮した電力の選択を検討した。
第2年度	(1) 環境に配慮した電力の選択を検討した。
第3年度	(1) 環境に配慮した電力の選択を検討した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	11,454 t-CO <sub>2</sub>	10,822 t-CO <sub>2</sub>	9,700 t-CO <sub>2</sub>	7,461 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー使用量	5,983 KL	5,747 KL	5,235 KL	4,076 KL
事業所の数	4	4	4	4

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量(t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
武蔵小杉タワープレイス	中原区小杉町1丁目403番地	3,987	3,763	3,290	2,740
興和川崎西口ビル	幸区堀川町66番2号	3,958	3,584	3,317	2,057

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量(t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
興和川崎東口ビル	川崎区日進町1番地53	1,768	1,818	1,629	1,419
川崎日進町ビルディング	川崎区日進町7番地1	1,741	1,657	1,464	1,245